

111

予想発表時期02年

フォルクスワーゲン・ルポ

現在、VWのもっとも小さいモデルとなっているルポだが、次期モデルは、よりベシックが小さく変更される。しかし、キャビンスペースは現状レベルを維持。そして、エコノミー性能をさらに高め、3カー(100km走るのに3の燃料で済む)から2.5カー(40km/)にするのが目標。

110

予想発表時期03年

フォルクスワーゲン・ポロ/ロードスター
次期ポロは、スタンダードな2ボックス3ドア/5ドア及びトランク付きの3ボックス4ドアセダンに加え、スポーティな2シーター・ロードスターが登場する。パワーユニットは、ほぼ現行通りだが3カーがポロにも設定される。ボディサイズも、現在のモデルとほぼ同じくらいのサイズとなる。

109

ゴルフ版スパシオも登場
VWのワイドラインナップ

フォルクスワーゲン ゴルフV/ミニバン

予想発表時期03年

国産車ならば、すでにFMCのうわさが流れるような時期に入った現行型ゴルフだが、次期モデルのゴルフの登場は03年まで待たねばならない。さすがにVWのドル箱モデルだけに、安易なモデルチェンジは受けたくないのだから。
ゴルフのラインナップは、ポロ、セダン、ワゴンも含めると、2ボックスのハッチバック(3/5ドア)と5ドアワゴン、3ボックスの4ドアセダン、2ドアのカブリオレ、そしてミニバンとこのクラスの顧客の要求をほとんどカバーできる、ワイドなパリエーション展開となる。ボディサイズはほぼ現在のまま(現行ゴルフで大きくし、一部で不評だったため)だが、ガソリン

系のパワーユニットは直列4気筒1.4からV6まで新採用された3V6まで用意される。しかしそれ以上に重要なことは、このゴルフにハイブリッドを通り越して、燃料電池車もパリエーションに加えることだ。
また、今回のFMCの目玉のひとつとなるのがミニバン。ライバルのオペル・リアストラは、ザファイラをリリースし成功を収めたため、もっと早く加えたがったところだが、あまりにも会社自身が急成長したため、手がまわらなかつたというのが実情のようだ。この手のミニバンの定石にのっとりて3列シートをそなえるコンパクトミニバンだ。

MAX PRESS/APOLLO

113

APOLLO

予想発表時期04年

フォルクスワーゲン

ゴルフVカブリオ

パリオーフは見送り
ソフトトップ採用か。

ゴルフのデビューに遅れること1年で、フル4シーターのカブリオレがデビューする。製作は初代ゴルフ・カブリオレ以来続いているカルマン社。ちなみに、メルセデスCLKカブリオレの製作も同社で行われている。代々の特徴だったBピラーのないキャンバストップはそのまま

残る。スチールタイプのルーフも検討されたが、ノスタルジック路線を踏襲することになったようだ。とはいえ、ラゲッジルームを犠牲にしない格納式スチールルーフ「クラブ・トップ」の開発も進行しており、ゴルフのモデルライフの中で何らかの動きがある可能性はある。

112

APOLLO

予想発表時期02年

フォルクスワーゲン

D1

トップ・オブVW、D1
にHBボディのウワサ

ドイツ鉄道のドレスデン駅前のガラス張りのファクトリーで生産される、VWのフラッグシップ・サルーンD1。ミニマム・パワーユニットは、最新のパスポートに搭載された3V6で、最上級グレードには6W12が搭載される。兄貴分に当たるアウディA8はもちろん、メルセデス

S600やBMW750iと肩を並べることになる。この新しいフラッグシップに5ドアHBが存在するというウワサがある。スタイリッシュなボディを持つこのモデルはD2と呼ばれることになりそう。もちろん世界最高のワゴンボディも計画されているに違いない。

115

予想発表時期01年

フォルクスワーゲン

バナゴン

バナゴンがFFになって
ライバルを追撃

VWのミニバンのピープルキャリア、バナゴンがFMCされる。スタイリングは50年代後半から70年代まで造られた初代デリバリーバンのような丸みを帯びたもので、ニュービートル同様レトロロックなものになる。しかし、中身は最新のパワーユニット、プラットフォームを採用

したFFで、現在のライバルである商用車ベースのメルセデスVクラスとは一線を画す。ニューモデルのライバルはシャランよりも大きな乗用車ベースミニバン、エスティマ(欧州名プレビア)やルノー・エスパスで、これらに十分対抗できるクオリティを持つ。

114

APOLLO

予想発表時期02年

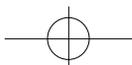
フォルクスワーゲン

コロラド

カイエンには負けぬ
新開発W12を搭載

ボルシェと共同開発のSUVは、パスポートに搭載された3V6や同じく新開発の3.7V8だけでなく、パリ・サロンで発表したアウディA8に搭載された6W12もラインナップされるといって、04年頃のハナシでボルシェ・カイエンの4.5V8を

越すようなパワーユニットを望んだためだ。またVWにしては珍しく手薄なアメリカ市場に対しては、ピックアップも考慮中だという。ニュービートルでVWブランドの認知度が向上しているいま、手堅い人気のSUVとピックアップでアメリカ市場での復権を狙う。



21世紀 ニュール
モデル
SCOOP ▶▶▶
120 連発

APOLLO

116 3シリーズ、Cクラスに対抗し
4ドアクーペが登場!

アウディ A4 4ドアクーペ

予想発表時期02年

FMCしたばかりのA4に、スポーティな3ドアハッチバッククーペとヴァリオトップを持つ4シーターカブリオレ、そして4ドアクーペ(厳密には5ドアハッチバック)が遅れて追加される。とくに、4ドアクーペはアウディのスタイルトレンドを示したモデルで、リヤドアのハンドルを見なければ

3ドアクーペと見間違えるくらい、ワイド&ローフォルムとなっている。また、スチールルーフを持つカブリオレは、トップを3分割して収納するため、格納時の省スペース化を実現。使い勝手を犠牲にしないカブリオレとなっている。

118

予想発表時期02年
アウディ

A8

FMCプロジェクトを
白紙撤回!

00年のパリ・サロンでデビューした、A8L(6 W12)はライバルのS600や750iを超えて、排気量、最高出力、最大トルクで、いずれのライバルをも凌ぐ数値をマークしている。しかし、本来このパワーユニットは、次期A8のために開発されたもので、それが現行モデルに搭載されたということは、次期A8の発表が遅れることを意味しているのだ。現行

A8が先代A6に似てコンサバティブになり過ぎたので、次期A8は現行A6を凌ぐアグレッシブなデザインでプロジェクトは進行していた。しかし、今度は逆に「飛び」過ぎたためにグループの首脳陣からNGが出たのだ。そのために、プラットフォームは完成しているにもかかわらず、VWグループ会長F・ピエヒの一言ですべてがフリダシに戻ってしまった。

117

予想発表時期01年
アウディ

A6クーペ

ユースフルな
スタイリッシュクーペ

滑らかな曲線ラインを多用したA6に2ドア(サターンクーペのような1+2ドアになるというウワサもある)クーペが追加される。しかし、このクラスともなると3ドアハッチバックではなく、独立したトランクを持つ2ボックススタイル

を採用する。アウディのスポーツモデルは常に、4ドアセダンが主流だったが、このA6ではいずれS6クーペも登場することになる。ライバルは、次期メルセデスCLKや次期BMW6シリーズなどだ。メインエンジンはオーバー300psのV8。場合によっては得意のW12の搭載もあり得る。

119

予想発表時期02年
アウディ・ロゼマイヤー

3.7 V8の2基掛けでおよそ700psを発生するというロゼマイヤーは、現在VWの本拠地ウォルフスブルグに00年に完成した自動車都市、アウトシュタットの中に展示されているミッドシップ・スーパースポーツカー。これが、アウディブランドとして現実に市販することになった。世界最高のスーパーカーとなる。

120

予想発表時期03年
アウディ・ホルヒ

往年の名ドイツ車、ホルヒのネーミングが復活する。アウディ・ホルヒとなるが、単にホルヒW12と名乗るかは別にして、A8よりも大きく、BMWに新たに設定される超大型リムジンの9シリーズやメルセデス・マイバハのライバルとなる。実質的には新規投入されるA9の姉妹車種だ。

121

予想発表時期02年
アウディA9

A8よりもボディは大きく、ホルヒとほぼ同格となるA9。しかし、次期ベントレーよりもスポーツ性能を薄めた車両となる。パワーユニットはW12とW16が用意され、駆動方式はパーマナント4WDのクワトロ方式が採用される。アウディ系では、もっとも高級なドライブーズサルーンとなる。

124

予想発表時期02年
セアト・サルサ

スポーツクーペかSUVか?変幻自在のクーペ誕生
00年のジュネーブショーとパリ・サロンに展示された、セアト・サルサ。次期スポーティモデルのコンセプトカーとして、元アルファロメオのデザイナー、デ・シルヴァがデザインしたが、ジュネーブではベッタンコのスポーツバージョンだったが、パリでは車高の高いSUVに変身していた。さて市販版は...

122

予想発表時期02年
アウディ
ステッペンウルフ
アウディブランドの
スタイリッシュSUV

00年パリ・サロンに突如として登場し、話題となったオールロー

ド・クワトロ+TTクーペといった感じのステッペンウルフ。乗用フルタイム4WDの先駆者メーカーらしく、SUVを美しいスポーツカーに仕立てると、このようになるという見本。パワーユニットは3 V6ターボを搭載する。



125

予想発表時期02年
セアト・イーサ

WRC撤退後のセアトの動向に注目
VWポロの姉妹車、イーサはポロより一足先にFMC。とはいっても、プラットフォームとパワーユニットは共通で、ボディが違うのみ。ポロの量産テストとすら言われるほど。WRCに参戦しスポーティなイメージがあるが、セアトがWRCから撤退し、これからどのようなイメージで売るのが注目だ。

123

予想発表時期03年
ランボルギーニ・カント

フェラーリ360対抗のペビー・ランボ復活!
アウディの傘下となったランボルギーニは、次期ディアブロの発表に向けて最終準備に取りかかったが、ペビー・ランボルギーニことカントの開発も引き続き続けられている。ただし、パワーユニットに関しては噂のV10ではなく、V8もしくはW12(もちろん両方ともアウディ製)になる公算が高いという。